

今月の5冊



「見えない鎖」
 鏡木蓮 (著) / 潮出版社
 母の失踪後、リストラされた父と生きてきた有子。その父が殺され、犯人は自殺。鎖のように繋がる怒りと悲しみ。人間が持つ業に翻弄されながらも、有子は自分の道を歩き始めた。【葦山】

図書館だより

*【 】内は所蔵館名

「お順(じゅん)上・下」 諸田玲子 (著) / 毎日新聞社
 勝海舟の妹にして佐久間象山の妻・お順。自らの意志を貫き愛に生きた娘と、彼女に関わった5人の男。女性の視点で、幕末から明治を描く長編歴史小説。【葦山・長岡】



「つるかめ助産院」 小川糸 (著) / 集英社
 南の島を訪れたまりあは、島の助産院の先生から予期せぬ妊娠を告げられる。「今ここにいる」ことの奇跡を力強く訴える、誕生と再生の物語。【中央・長岡】



「ゆっくり急ぐ」 外山滋比古 (著) / 毎日新聞社
 ていねいにやりなさい。拙速はいけません。矛盾する二つを結びつける知恵とは? 「思考の整理学」で再注目される作者による軽妙なエッセイ。【葦山】



「盲導犬になれなかったスキッパー」 藤崎順子 (著) / 文藝春秋
 ミラノの空港で爆発物捜査犬として大活躍したスキッパー。その数奇な一生を、パピーウォーカーとして育てた家族が綴る。【葦山・長岡】



おすすめ 子どもの本あれこれ

テーマ おさんぽの本

あたたかくなってきました。ちょっとそこまで、おさんぽしたくなる絵本はいかがですか。



「へびくんのまさんぽ」
 いうひろし (作)
 みちのまんなかにもみずたまり。さあどうする? 【全館】



「あめのさんぽ」
 竹下文子 (文)、鈴木まもる (絵)
 あめふりのにちようびはつまらないって?ほんとうかな。【中央・葦山】



…そのほかに、
 「ロージーのおさんぽ」パット・ハッチンス (作) 【全館】
 「おさんぽさえこちゃん」伊東美貴 (作) 【中央】
 「ぞうくんのおさんぽ」なかのひろたか (作) 【全館】などもおすすめです。



「さんぽみちは はなばたけ」
 広野多珂子 (作)
 どんなくさにも、なまえがあるのです。【中央】

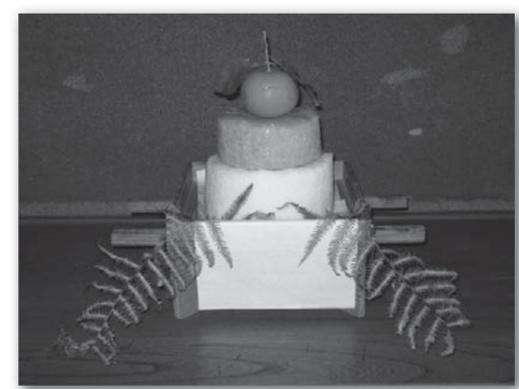
長岡図書館
春のおたのしみ会開催!
 と き 3月19日(土) 10:00~11:00
 ところ えほんのへや
 対象 幼児~小学生
 内容 絵本・大型絵本の読み聞かせ、紙芝居の実演など
 *申し込みは不要です。

スタッフ通信

毎月、おはなし会を各図書館でやっているのを知っていますか。子どもたちが図書館を身近に感じ、本とふれあう時間を作ることを目的に開催しています。まだまだ参加者が少ないようです。皆さん、図書館へ足を運んでください。(館長 井村)

江川家の伝統的な行事のひとつに『具足開き』があります。具足とは、鏡兜のことです。武家では年末に具足を飾り、その前に紅白の鏡餅(具足餅ともいう)を供える風習がありました。江川家では、これを11日に下げ、鏡開きを行います(現在は休日に行われていますが、かつては1

く、古い家柄です。江川家の先祖は、保元の乱後、13人の従者とともに大和国(現在の奈良県)宇野から、伊豆に移ってきたと伝えられています。金谷村(現在の葦山金谷)の人々は、その従者の子孫であるとされ、そうした古くからのつながりは、長年にわたって大事にされてきました。そのため、江川家で行われる年中行事は、金谷の人たちによって、今もなお支えられているのです。



葦山郷土史料館では、3月4日(金)から企画展『江川家の行事』を開催します。幕末の名代官江川英龍(坦庵)を生んだ江川家は、平安時代末期から続

平安時代末期より今なお引き継がれる伝統行事

月11日と決まっています(集まり、順番にヨキ(斧)で餅を割り小さくします。これを塩味の汁粉に入れて皆で食べるのが、習わしとなっています。汁粉の他に、馬のひづめの形に切った沢庵や、橙(だいだい)の汁に漬けた臍(なます)などが供されます。今回の企画展では、こうした江川家の行事を取り上げ、古文書資料や工芸品、写真パネルなどによって紹介いたします。あわせて、伊豆の国市内で行われている特徴ある年中行事を、1月から順を追って紹介していきます。ぜひ、江川家の行事とともに、わたしたちの暮らしの中に根付く伝統文化を、再発見してください。



問合せ 社会教育課
 電話 055-948-1461

文化財通信

その69 葦山郷土史料館企画展「江川家の行事」開催

展示期間・史料館のご案内	
期 間	平成23年3月4日(金) ~ 9月6日(火) *毎週水曜休館
時 間	午前9時~午後4時30分
場 所	葦山郷土史料館(江川邸横) 1階企画展示室
入館料	江川邸・史料館共通券 大人 400円 小中学生 200円 史料館のみ見学の場合 大人 200円 小中学生 100円
史料館問合せ	葦山郷土史料館 ☎ 055-949-4127

文化協会 だより 60

新年度会員募集

伊豆の国市文化協会には7つの専門部があり、平成22年度は97団体・1,129人が加盟し、同じ趣味を持つ人たちが研鑽・交流し合い、活気に満ちた活動を展開しています。年度切り替えにあたり、来年度(平成23年度)に向けて会員の募集をしております。あなたも文化協会に申し込み、趣味を生かして一緒に楽しみませんか。

専門部別の主な活動

- ◆歌唱部: 合唱、民謡、詩吟、朗読、歌謡等
- ◆舞踊部: ダンス、バレエ、日本舞踊、ヨーガ等
- ◆演奏部: バンド、ギター、尺八、三味線等
- ◆学芸部: 俳句、川柳、考古学、パソコン等
- ◆美術部: 書道、絵画、水墨画、写真、絵手紙等
- ◆工芸部: パッチワーク、手編み、てまり等
- ◆伝統文化部: 華道、茶道、園芸、コーヒー等

*団体の申込書は、あやめ会館1階の社会教育課の窓口にて備えてあります。

問合せ 社会教育課
 ☎ 055(948)1461
 文化協会(大橋)
 ☎ 0558(76)2935